

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 シンフォニー	代表者名	山崎 勲
事業名	<基本事業>持続する組織づくり支援 <企画立案事業>地域NPOブラッシュアップ事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
基本事業	
2017/4/1～	相談事業（NPO 法人向け支援・地縁団体向け支援・専門相談員による税務や社会保険労務等の運営相談）
2017/4/1～	情報提供事業（ホームページ：随時/メールマガジン：月 2 回、ネットワークを活用し、チラシをまとめて配布していく）
	人材育成事業
2017/4/1～2018/1/25	● 書類作成指導、助言（13 回）
2017/12/14	● 事業計画と資金計画の整合性、事業報告講座（1 回）
2017/12/7	● NPO のためのマネジメント力強化講座（1 回）
2018/2/8	● ファンドレイジング講座（1 回）
2017/12/21	● チラシ、ポスター添削講座（1 回）
企画立案事業	
	広域連携
2017/4/1～2018/3/31	近畿 2 府 4 県中間支援組織連携会議（3 回）
2017/9/22～2017/9/23	熊本地震／コミュニティFM等訪問ツアー
2018/1/28	シンポジウム「災害時におけるコミュニティラジオの役割」（京都）
2017/12/26	災害弱者支援・防災事例検討会（尼崎）
	テーマ別連携
2017/4/1～2018/3/31	生活困窮者自立支援・就労準備支援団体の連絡会（月 1 回）
2017/4/1～2018/3/31	NPO 法人活動協議会世話人会（月 1 回）
2017/9/30	NPO 市場（尼崎 NPO 法人協議会）
2017/4/1～2018/3/31	NPO と地縁団体のマッチング事業⇒商店街をコアに「地域活性化事業」として行う（杭瀬商店街振興事業支援）
2017/08/03～2017/12/15	地域活性化の為、水堂と今北地域総合センターで地域住民のためのパソコン講座を行った。

<効果と成果>

民活動の基盤の弱体化として、資金面と同時に、地域活動の担い手が不足がますます顕著になっている。

そこで、障害者支援や生活困窮就労支援等の分野で NPO 法人と地縁団体との活動連携をコーディネートした。

また、担い手不足により事務力が低下していることに對し、一般相談をはじめ、税理士、社労士等による専門性をもったものによる申請書や報告書、税務等の実務支援を行った。

テーマ型 NPO と地縁型地域団体の連携システムづくりはイベント型を一步進めて、日常活動において協働型で進めていく必要もあり、実務支援における相互支援も必要である。

コミュニティービジネス等活動を継続させるための経験・ノウハウをより広く提供していきたい。また、貧困と格差問題や、障害者・高齢者の住まい問題、子育て・教育支援の分野では企業を巻き込んで、支援体制をつくっていききたい。

一方、地域では「NPO と地縁団体との連携」のモデル作りが急がれている。商店街等を媒介として、このモデルを作っていくことを引き続き取り組んでいきたい。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	48,275
合 計	548,275

(支出)

区 分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金 額 (円)
直 接 経 費	コーディネーター人件費	254,870	226,655
	諸謝金	116,000	116,000
	旅費・交通費	31,397	31,390
	その他(印刷製本費・広報宣伝費等)	58,455	58,455
	小 計	460,722	432,500
間接経費(一般管理費)		87,553	67,500
合 計		548,275	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	170,000
自己資金	50,826
合 計	220,826

(支出)

区 分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金 額 (円)
直 接 経 費	コーディネーター人件費	84,957	70,000
	諸謝金	63,000	50,000
	旅費・交通費	30,762	30,000
	その他(印刷製本費等)	14,065	10,000
	小 計	192,784	160,000
間接経費(一般管理費)		28,042	10,000
合 計		220,826	170,000